

福田直樹さんは すごいピアニストでした

成長・貢献・感謝



スティーヴン・セガール似の福田さん

学校訪問ピアノコンサート



羽地中学校
学校だより179号
R2. 2. 4



静まりかえった音楽室でピアノの音が響く

T・T氏からのお取り計らいで、急ぎよ28日の5校時に2年生を対象にピアノコンサートを鑑賞する機会を設けました。演奏者は、福田直樹さん（ピアニスト、米沢大使）東京都ご出身の方でした。バッハ、ショパン、ベートーベン、モーツァルト、などの楽曲を楽譜などを一切見ずに弾き、トークと華麗なテクニクで50分間、私たちを魅了しました。リクエスト曲の「月光」は私が大好きな楽曲の一つですが、静かな第一楽章から始



心で感じ取る

（福田直樹HP言葉と音楽より）

「それには触らないでね。大事なものだから」と言うべきところを「さわるな」と、一言で済ましてしまう。本人は、決して怒ってはいないのに、言われた人は怒られたと思う。気持ちの響きで伝わります。言葉は音楽と同じに伝わるものなのです。言葉には、音楽と同じ「強弱」、「高低」、「早い遅い」、「間」（休符）、等があります。声に頼らないメールのやりとりが当たり前となったいま、文字列からの感情交換が課題となります。音楽家が楽譜の音符から美しさを引き出すように、日本語の美しさを認識したいものです。

日本語は美しい言葉

まり、激しい連打でまるでロックのようにまくし立てる第三楽章まで一気に聴かせてくれました。あまりにも素晴らしい演奏でしたので、感動でしばらく呆然としていました。ピアノはスポーツだ、と語る福田さん。小・中・高校時代は野球、テニス、バスケと、スポーツ少年だったらしい。とにかくピアノを弾き続けるには体力が必要とのこと。大きな音を出すには強さではなく、指先で早く弾く、ということも驚きでした。後でホームページを検索してみると、やはり凄い人でした。演奏会の予定や情報館、なおき節、チェンバロ等の情報が満載でした。訪問してみてください。また、来年もお呼びしたいと思います。ご訪問ありがとうございます。ご縁に感謝いたします。

遊

1年1組の掲示板は、いつも楽しい掲示物でいっぱいです。生徒の活動の様子や活躍がよくわかります。写真は書き初めの一品で、りりしい書を書きました。

一組の書

志

戦